



# やまな

周南たちばな学園

袋井市立山名小学校

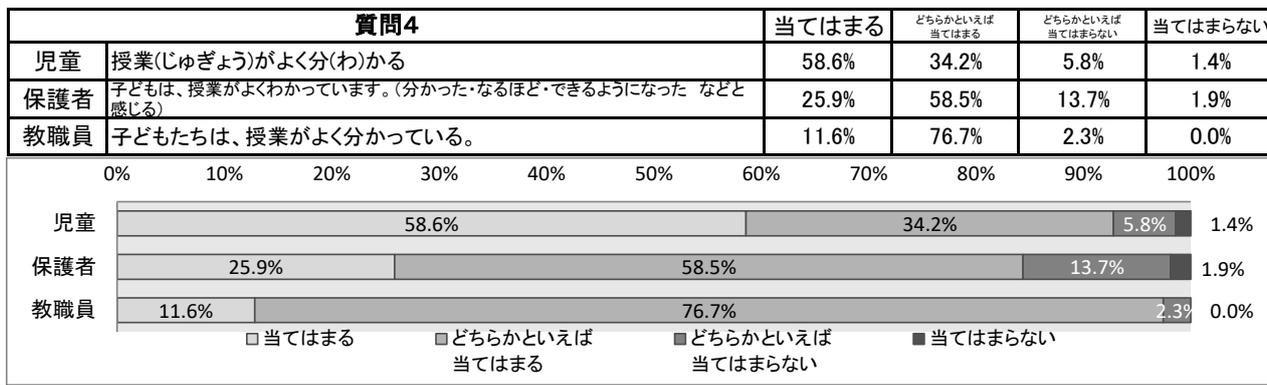
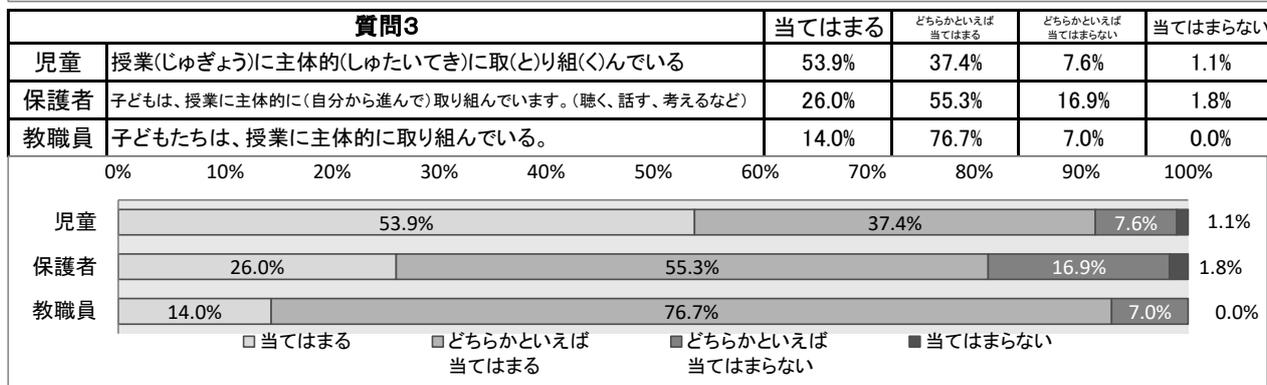
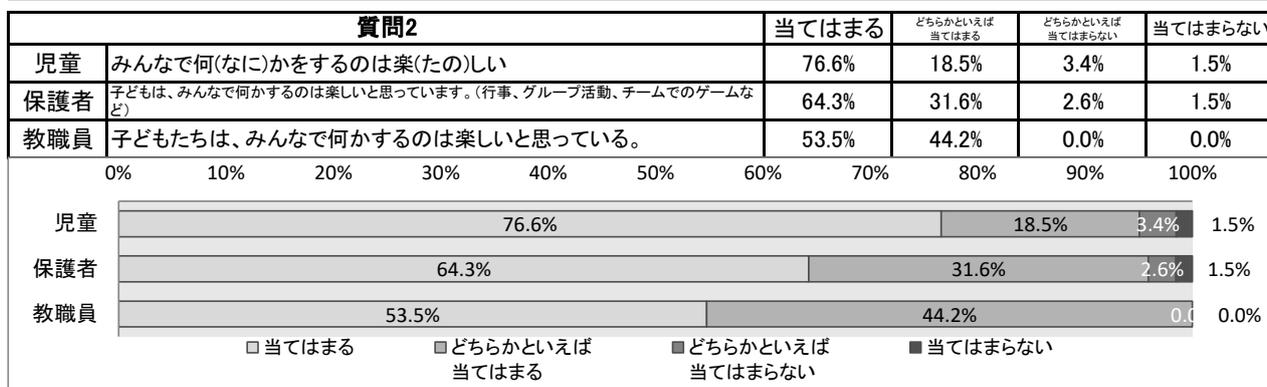
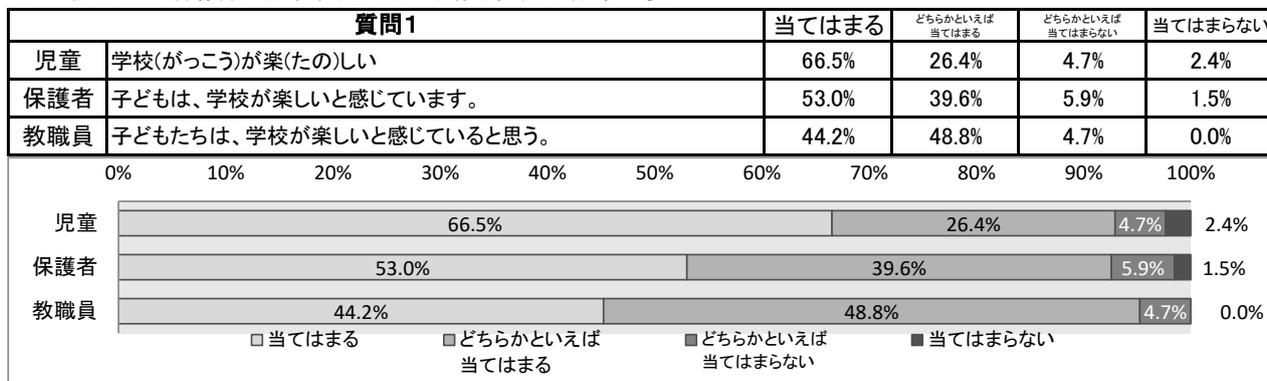
学校だより No.10

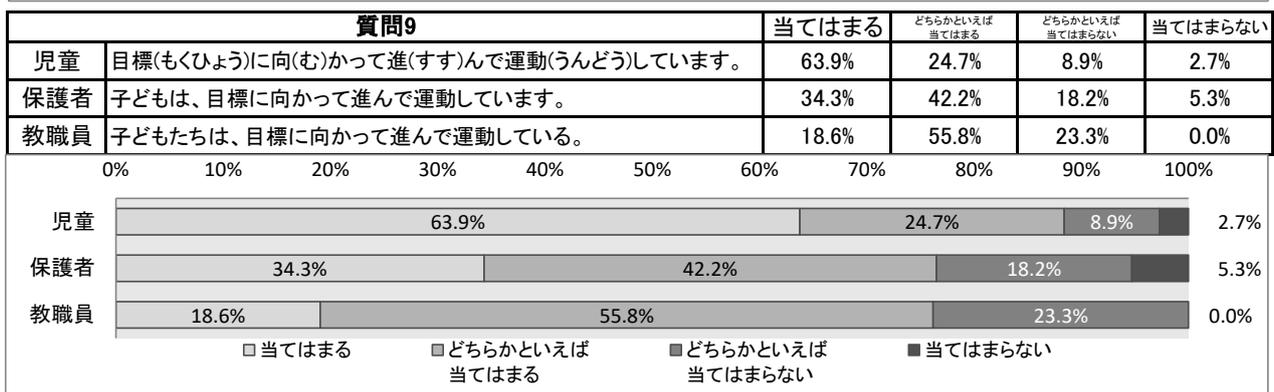
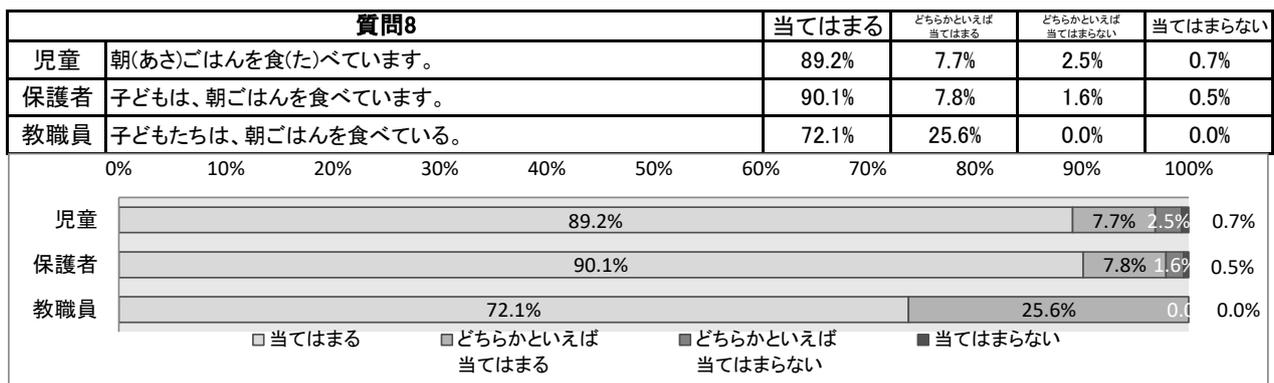
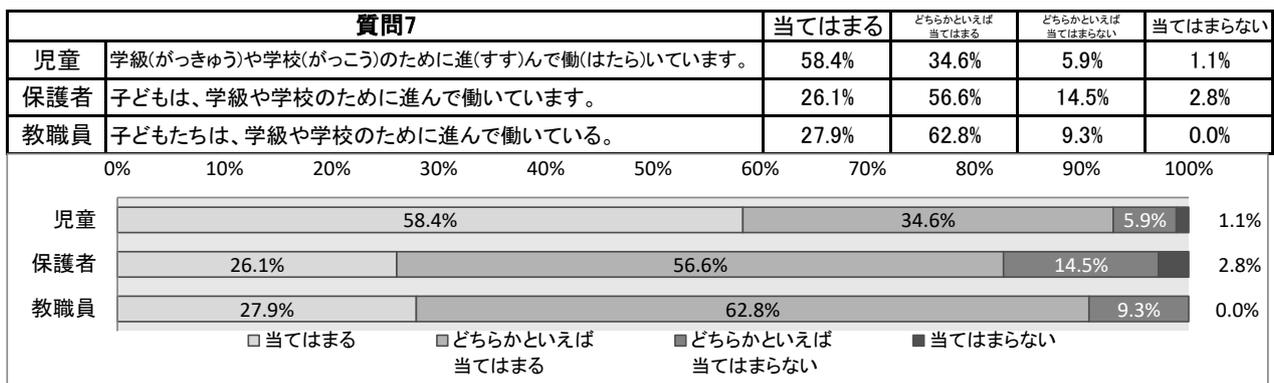
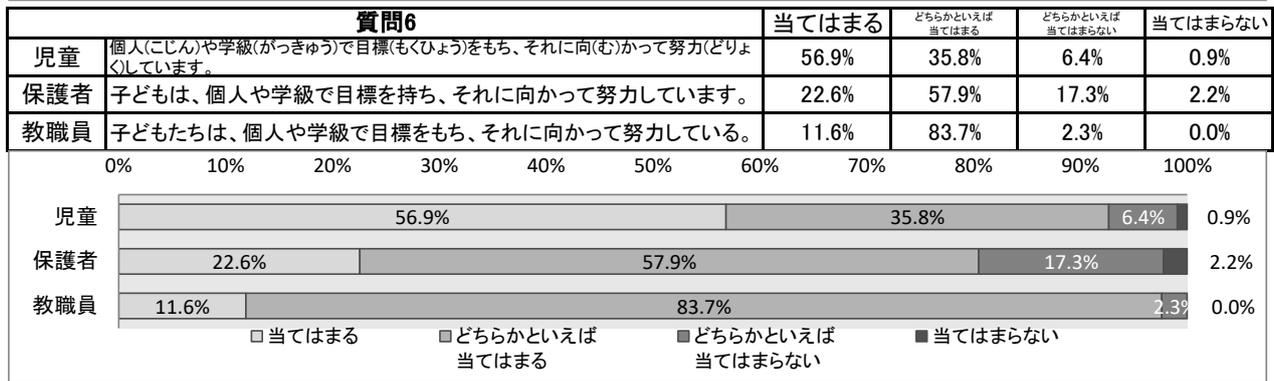
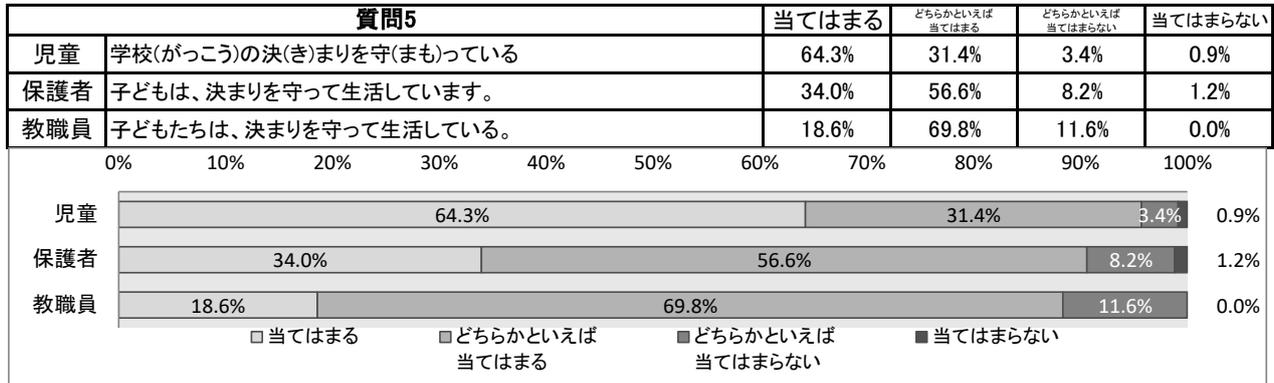
令和3年10月22日発行

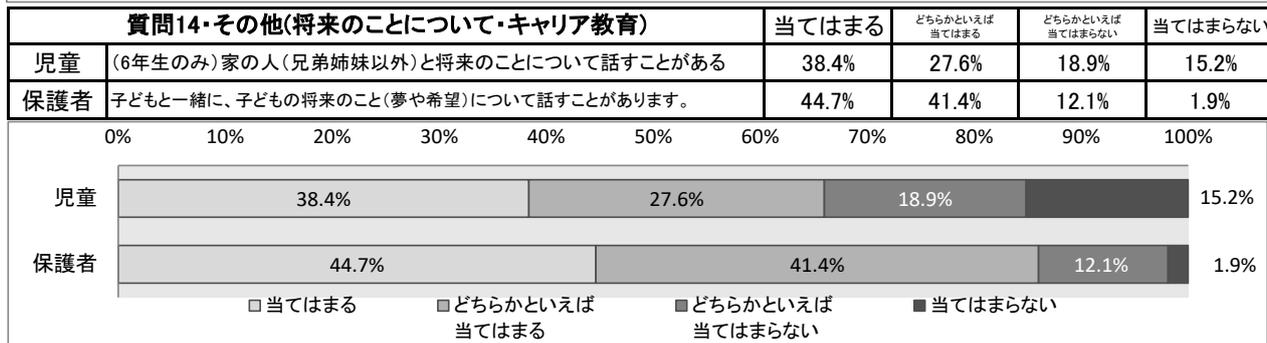
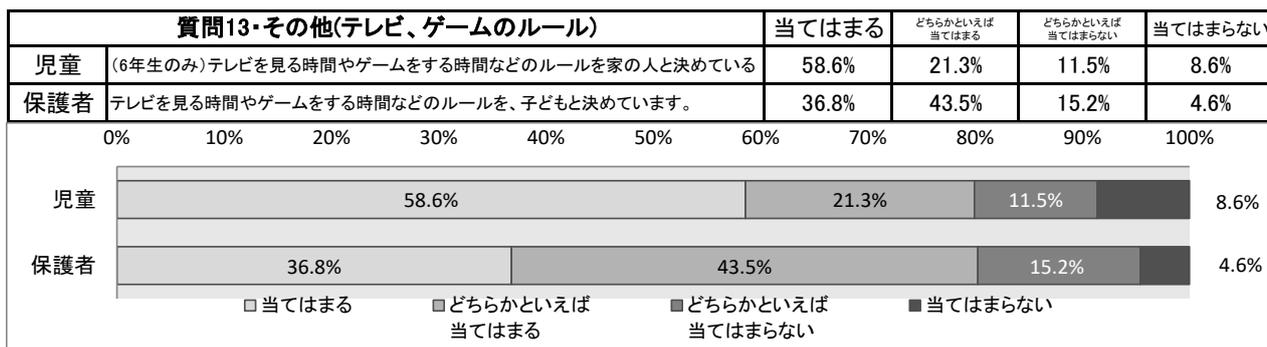
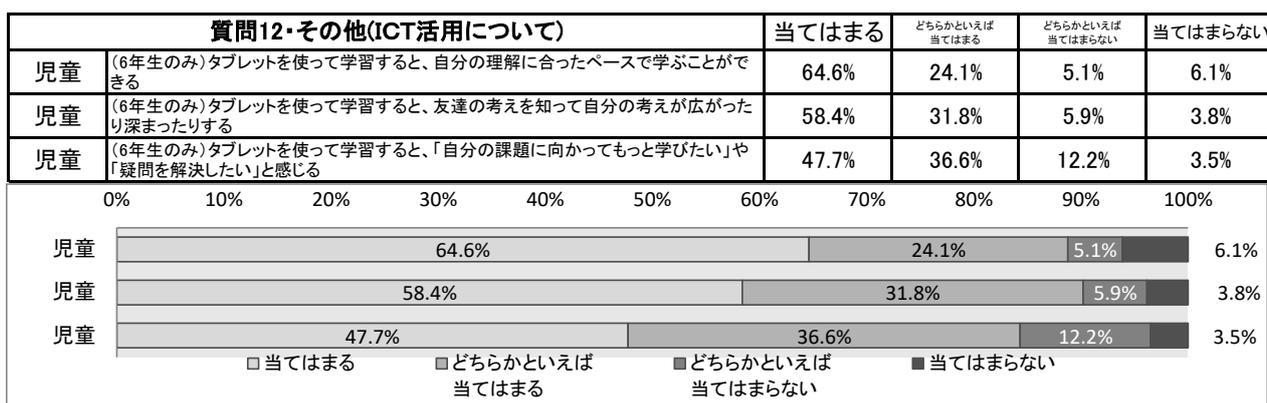
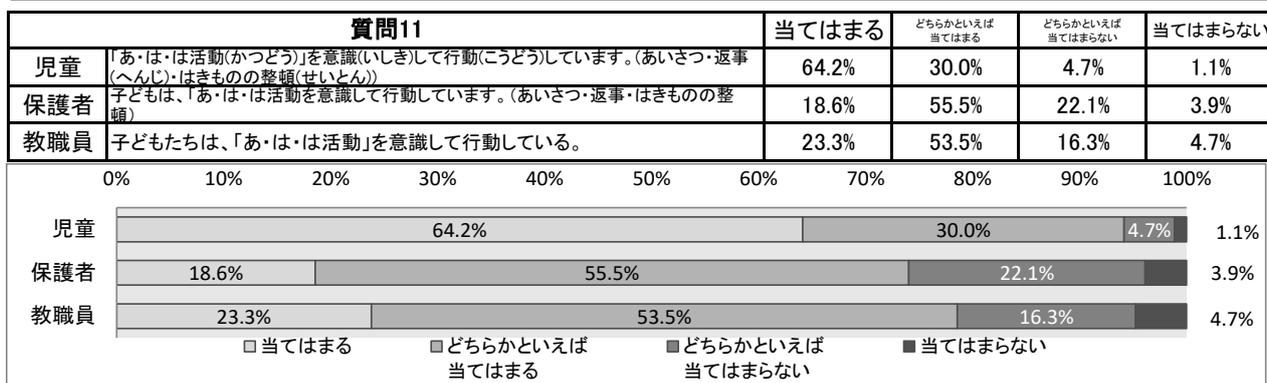
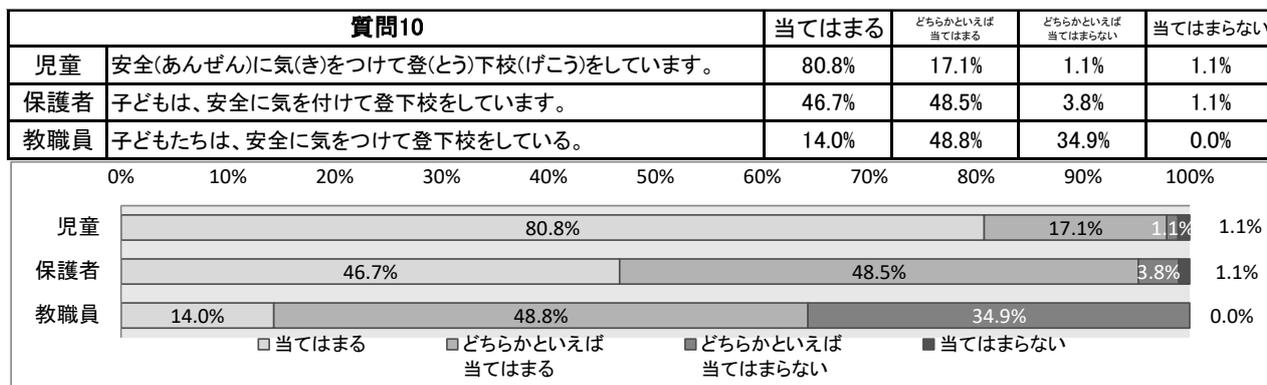
山名小学校の教育活動に関する調査(7月実施)のまとめ(概要版)

7月に実施した本年度1回目の山名小の教育活動に関する調査の結果がまとまりましたので、御報告いたします。調査への御協力、またたくさんの御意見をいただき、誠にありがとうございました。

## ○三者(児童・保護者・教職員)共通の質問事項の結果一覧







## ○アンケートの結果についての考察

袋井市の教育が目指す子ども像「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」の評価指標を含め、4択の「当てはまる」の数値に着目して評価を行いました。

質問1～4については、周南たちばな学園として、「授業に主体的に取り組む」児童の姿を大切にするため、教員がICT等を活用しながら授業改善を進めています。また、様々な教育活動を見直すことは、「授業がよく分かる」、「みんなで何かするのは楽しい」と感じる児童の姿につながり、それらの項目が密接にかかわり合うことで、児童にとって「学校が楽しい」ものになると考えます。

そこで、今後も授業や行事に取り組む中で、互いの思いや考えを伝え、尊重し合う場面を大事にします。また、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、仲間や大人とのかかわりを大切にしながら、各学年で発達段階にあわせた授業や行事を推進することで、児童に充実感や満足感、自己肯定感を味わわせます。制限のある中で出来る限りの交流場面を設定し、かかわり合いの中で子供の成長を促し、そこから全ての児童の「自分には良いところがある、必要とされている」という自己有用感(自分に対する自信)を育て、肯定率の向上を目指します。あわせて山名っ子ノート(家庭学習)の取り組み方を改善したりICTの活用推進、積み重ねを大切にしたりしていきたいと考えます。

質問6、7、11については、本校で大切にしている「あ・は・は」活動などについてです。自分から挨拶をしたり、自分の考えを相手に伝えたりすることに自信をもつことができない児童がいます。そこで、委員会活動や学級活動から出たアイデアをもとに話し合い、自分たちにできることを考える活動を大切にしていきます。互いに尊重し合いながら違いを認め合ったりよさに気づき合ったりすることを大切にすることで、よりよい集団づくりや集団生活の基礎を築き、思いや考えを表現しながら、自らを集団の中でステップアップさせていきます。そのために、教員は学級の雰囲気高められるような声掛けや取組を進めます。そして、「あ・は・は」活動を実践する児童の姿を認め広げたり、自ら手本として繰り返し支援を行ったりしながら、児童への定着につなげます。

質問5、8、10については、児童の健康や安全についてです。けがや事故のない落ち着いた学校生活は、学力の向上や心の成長につながります。児童自身が健康や安全を意識して生活することができるよう、雨天時の過ごし方や下校時刻を守ることなどを共有し、指導を行っていきます。

## ○保護者自由記述欄の御意見について

貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいた御意見を参考に、今後の教育活動のさらなる改善につなげてまいります。また、学校や担任の取組について御理解や御指摘をいただきました。保護者の皆様から温かい御支援の言葉をかけていただいたことに感謝申し上げますとともに、今後の改善へとつなげてまいります。

## ○2学期の取組について ～ 御家庭でも御協力ください。

- 「自己有用感」をもつ子を育てる。
  - ・友達や自分のよさや頑張りを互いに認める場(授業や学級内の活動での振り返りなど)をつくる。
- 「あ・は・は活動」の推進を継続する。
  - ・委員会や係の活動でも取り組み、あいさつや返事、はきものの意識を高める。
  - ・「先取りあいさつ」や「はきものの整頓」ができていた児童をほめ、自己有用感(自分に対する自信)を育てる。
- 児童が主体になって活動に取り組む。
  - ・清掃の進め方を確認し、自分で考え、異学年の仲間と協力しながら黙働清掃をする習慣を身に付ける。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、委員会活動や縦割り活動、学年集会など、児童が主体的に計画を立てて取り組むことができるような場や機会を大切にします。
- 主体的に学習に取り組む態度を養う。
  - ・自分が学習したことを振り返り、タブレットや山名っこノートを活用し、その日、その時間に自分が学んだことや疑問、思いなどを書いたりまとめたりすることで、学んだことを自覚できるようにする。
- 学校生活における安全指導・歩行指導を継続する。
  - ・「雨の日の昼休みは読書などをして静かに過ごす。」「教室移動をする際には、学級毎で整列して移動する。」など安全、安心な生活を心がける。
- 学校生活における新しい生活様式を引き続き意識し、新型コロナウイルス感染症対策を継続する。

今回も本内容について、学校ホームページ(<http://bansyu-school.jp/fukuroi-yamana-e/>)の「お知らせ」に、グラフ付きのアンケート結果や保護者の皆さんの御意見、学校の回答を掲載する予定です。ご覧ください。